

■甲南医療センター 病院概要



■甲南医療センター

〒658-0064 兵庫県神戸市東灘区鴨子ヶ原1-5-16
TEL:078-851-2161(病院代表)
<https://kohnan.or.jp/kohnan/>



□病床数:461床

■診療科目

- 糖尿病・内分泌・総合内科 ■循環器内科 ■消化器内科
- 腎臓内科 ■呼吸器内科 ■脳神経内科 ■リウマチ膠原病内科
- 腫瘍・血液内科 ■緩和ケア内科 ■放射線科 ■小児科
- 皮膚科 ■精神科 ■消化器外科 ■乳腺外科
- 心臓血管外科(休診中) ■呼吸器外科 ■整形外科
- リハビリテーション科 ■脳神経外科 ■眼科 ■耳鼻いんこう科
- 泌尿器科 ■産婦人科 ■形成外科 ■麻酔科 ■歯科口腔外科
- 病理診断科 ■救急科

【病院見学希望フォーム】

https://kohnan.or.jp/recruit/entryfrom/residents_request



臨床研修医 募集案内 2027



【初期臨床研修医募集要項】 <https://kohnan.or.jp/recruit/initial-resident/recruitment>



- 雇用形態 常勤(2027年4月1日 採用予定)
- 勤務地 甲南医療センター
- 募集人数 9名
- 給与 基本給(年俸制)
4,450,000円/年(1年次)
4,950,000円/年(2年次)
※30時間/月程度の時間外勤務あり
(上記金額は30時間の時間外勤務手当を含んだ見込み額)
※交通費:支給(月額50,000円を上限とし支給)
※夜勤・休日勤務:4~5回/月
※宿舎:なし(当院規定の不動産会社紹介あり)
- 勤務時間 8:30~17:15(60分休憩)
- 休日・休暇 ●有給休暇:10日(1年次)、14日(2年次)
●その他:結婚休暇・忌引休暇・配偶者出産休暇・
その他法律に定められた休暇等
●休日:土曜日・日曜日・国民の祝日・国民の休日
年末年始(12月29日~1月3日)
※シフト制
- 厚生 社会保険:全国健康保険協会管掌健康保険適用
年金保険:厚生年金保険
労災保険:適用
雇用保険:適用

- 健康 健康診断2回/年
インフルエンザ予防接種等
 - 医師賠償責任保険 団体保険加入済 ※個人加入推奨
 - 学会参加 当院の規定により参加可
 - 試験日 2026年8月8日(土)、2026年8月22日(土)
 - 選考方法 面接
 - 応募書類 ①履歴書(当院規定のもの)
②小論文(Wordで横書き)
※論題はホームページにて後日発表
③卒業(見込み)証明書
④CBT個人成績表
⑤成績証明書
⑥健康診断書(大学実施の健康診断でも可)
 - 応募期間 **2026年6月22日(月)~2026年7月24日(金)(必着)**
 - 応募方法 封筒の表に「初期臨床研修医採用試験応募書類」と
朱書きし、以下の宛先まで郵送してください。
【送付先】〒658-0064
兵庫県神戸市東灘区鴨子ヶ原1-5-16
甲南医療センター 教育研修センター 宛
 - 留意事項 応募にあたってはマッチングに参加登録してください。
- ◎最新情報はホームページをご覧ください。

【応募・お問い合わせ先】

公益財団法人甲南会 甲南医療センター 教育研修センター
Mail:kmc.rinshokensyu@kohnan.or.jp
TEL:078-851-2161(代表) ※平日9:00~17:00にご連絡ください。



公益財団法人 甲南会
甲南医療センター



梶田 修吾
初期臨床研修医2年目
神戸大学卒

やりがいや喜びを感じるのはどんな時ですか？

救急外来でのファーストタッチや入院時に担当した患者さんの症状が軽快し、感謝の言葉をいただいた瞬間に最もやりがいを感じます。日々の診療では、上級医と治療方針を密に共有し、患者さんの病識や不安に寄り添った「オーダーメイドの医療」の提供を常に心掛けています。

受け持つ患者数が増え、多忙な日々ではありますが、教育熱心な上級医に恵まれ、新たな経験を積める環境に深く感謝しています。初期臨床研修も2年目となり、責任とともに裁量も増え、患者さんとの距離がより縮まったと実感する機会が増えました。これからも慢心することなく、最善の医療を提供できるよう、医療者として研鑽し続けたいと思います。

実際に当院で研修を受けて、良かった点は何ですか？

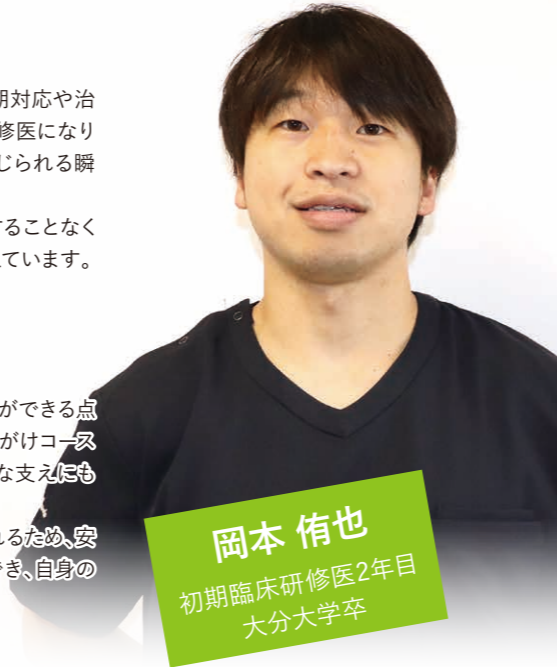
多種多様な救急症例に対して研修医がファーストタッチを担い、不明点を上級医に相談できる体制が整っている点、研修医の人数が多く、互いに切磋琢磨しながら研修できる点が魅力的です。当院は神戸市内で2位となる年間6,000件以上の救急搬送を受け入れており、common diseaseから稀な疾患まで豊富な症例を経験することが可能です。

それら1例1例に対して救急科専門医の先生方からフィードバックを受け、主体的かつ実践的に救急対応を学べる環境が整っています。また、研修医同期として甲南医療センタープログラム9名、神戸大学プログラムたすぎがけコース6名が在籍しており、症例についての議論や、互いの疑問点について話し合うなど、モチベーション高く研修に励むことができます。

やりがいや喜びを感じるのはどんな時ですか？

救急外来でファーストタッチをした患者さんや、入院で担当医となった患者さんが、適切な初期対応や治療選択によって症状が改善し退院となった時には一際喜びを感じます。また、1年前の初期研修医になりたての自分と比較すると日に日にできる手技や担当できる患者数が増えてきて、自分の成長が感じられる瞬間にとってもやりがいを感じます。

まだまだ分からないことや出来ない事も多く、学ばなければならない事が沢山あるので、慢心することなく一歩ずつ成長していきたいです。その結果、患者さんに提供できる医療の質を向上させたいと考えています。



岡本 侑也
初期臨床研修医2年目
大分大学卒

実際に当院で研修を受けて、良かった点は何ですか？

29もの幅広い診療科が揃っているため、多様な症例に触れながら総合的な診療能力を養うことができる点は大きな魅力です。また、研修同期が甲南医療センタープログラム9名と神戸大学プログラムたすぎがけコース6名の15名と多く、日々の疑問や悩みを共有しながら切磋琢磨できる環境が整っており、精神的な支えにもなっています。

さらに、指導医の先生方は優しく教育熱心で、質問しやすい雰囲気の中で丁寧な指導を受けられるため、安心して主体的に学び続けることができます。実践を通して知識と技術を着実に身につけることができ、自身の成長を日々実感できる充実した研修環境だと感じています。



菊月 風花
初期臨床研修医1年目
神戸大学卒

臨床研修病院をどのような基準で選びましたか？

また、当院を選んだ決め手は何ですか？

私が甲南医療センターを選んだ理由は、『断らない救急』の理念のもと、common diseaseから重症例まで幅広く対応する中で、医師としての基礎を着実に築くことができると感じたからです。また、救急科にて実習させていただいた際には、研修医の先生とともにファーストタッチを行い、指導医の先生に丁寧かつ熱心にフィードバックをしていただきました。

その中で、自身の判断を振り返り改善する経験を積むことができ、実践を通して思考力と技術を磨くことができる教育体制に大きな魅力を感じ、このような環境のもとで、私も一員として学び、医師として成長したいと考え志望いたしました。

研修終了後、どのような医師に成長していきたいですか？

私は、患者さんから「先生に任せてよかった」と思っていただけの医師になりたいです。そのために、患者さん一人ひとりの背景や価値観に目を向け、丁寧に向き合う姿勢を大切にしたいです。

病気だけでなく、その人の生活や思いを踏まえた診療を行い、患者さんが前向きに治療に臨める医療を実現したいです。また、患者さんの症状や背景は一つとして同じものではないからこそ、幅広い知識を身につけあらゆる場面に対応出来る力を養っていきたくです。

そのためにも、常に学び、考え、振り返り、一つひとつの出会いや経験を大切に、日々成長していきたいと考えています。

臨床研修病院をどのような基準で選びましたか？

また、当院を選んだ決め手は何ですか？

私は東灘区出身で、周囲の皆さんが「何かあったら医療センター、いつもお世話になってるの」「あそこは絶対どんなときでもみてくれる」と口にされるのを、日頃から聞いてきました。

見学やweb説明会で、実際に「不断の救急」が実践されていることを知り、地域住民の方々を支える病院であることを改めて実感しました。

私自身、将来は地域の方々にとって顔の見える存在となって、信頼される医師になりたいという思いがあります。甲南医療センターは、充実した教育体制のもとでの、豊富な診療科における研修や、主体的に関われる救急体制が魅力です。この環境を通して、自分の将来像に近付けると感じ、当院を志望しました。

研修終了後、どのような医師に成長していきたいですか？

研修を終える頃には、甲南医療センターで働くスタッフの一員として、相手の立場に立って気持ちを汲み取り、周囲への配慮と感謝を忘れない医師でありたいと考えています。医療は一人でできることではなく、自分と関わる全ての方々と協力が不可欠です。

研修を始めてしばらくは、どうしても目の前のことをこなすのに精一杯になってしまい、周りが見えなくなることがあると思います。しかし、そんなときこそ立ち止まり、広い視野を持てるようにしたいです。研修を重ねる中で、自分の健康管理はもちろんのこと、周囲の方々とコミュニケーションを大切にしながら、患者さんに最善の医療を提供できる医師になれるよう成長したいと思っています。



糸氏 佑美
初期臨床研修医1年目
佐賀大学卒

研修プログラム		一人ひとりの希望に寄り添ったオーダーメイドの研修プログラムを作成！ 自分らしく学べる、充実した研修を実現します。											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
基本モデル	1年目	内科(臓器別) (必修科目)							外科 (必修科目)		救急科 (必修科目)		
	2年目	産婦人科 (必修科目)	小児科 (必修科目)	地域医療 (必修科目)	精神科 (必修科目)	選択研修							

- ◎必修科目：内科7ヶ月(循環器内科、消化器内科、糖尿病・内分泌・総合内科、呼吸器内科、腫瘍・血液内科、脳神経内科、腎臓内科)、外科2ヶ月(消化器外科、乳腺外科、呼吸器外科)、救急科3ヶ月、産婦人科1ヶ月、小児科1ヶ月、地域医療1ヶ月、精神科1ヶ月
- ◎選択研修：8ヶ月(循環器内科、消化器内科、糖尿病・内分泌・総合内科、呼吸器内科、腫瘍・血液内科、脳神経内科、腎臓内科、緩和ケア内科、消化器外科、乳腺外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、泌尿器科、皮膚科、耳鼻いんこう科、眼科、放射線科、麻酔科、産婦人科、小児科、救急科)
- ◎地域医療：丹波市健康センター ミルネ診療所(兵庫県丹波市)、松前町立松前病院(北海道松前町)、芦屋甲南クリニック(兵庫県神戸市)、そらクリニック(兵庫県尼崎市)
- ◎精神科：医療法人達磨会 東加古川病院(兵庫県加古川市)
- ※一般外来研修は内科、小児科、選択研修、地域医療(丹波市ミルネ診療所、松前町立松前病院)にて実施

モデルパターン①		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1年目	内科①② 【消化器内科】 (必修科目)	内科③④ 【循環器内科】 (必修科目)		救急科① (必修科目)	外科①② (必修科目)		内科⑤⑥ 【腫瘍・血液内科】 (必修科目)		選択研修①	救急科② (必修科目)	選択研修②			
2年目	選択研修③	地域医療 (必修科目)	内科⑦ 【腫瘍・血液内科】 (必修科目)	産婦人科 (必修科目)	小児科 (必修科目)	救急科③ (必修科目)	選択研修④～⑦				精神科 (必修科目)	選択研修⑧		

モデルパターン②		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1年目	外科①② (必修科目)	内科① 【呼吸器内科】 (必修科目)	内科②③ 【循環器内科】 (必修科目)		救急科① (必修科目)	産婦人科 (必修科目)	内科④⑤ 【消化器内科】 (必修科目)		内科⑥ 【脳神経内科】 (必修科目)	選択研修①	救急科② (必修科目)			
2年目	内科⑦ 【腎臓内科】 (必修科目)	選択研修②	救急科③ (必修科目)	選択研修③④		地域医療 (必修科目)	選択研修⑤	精神科 (必修科目)	選択研修⑥⑦		小児科 (必修科目)	選択研修⑧		

充実した研修環境

「次世代の医療を担う優秀な若手医師」育成のための研修環境づくりに力を入れています。

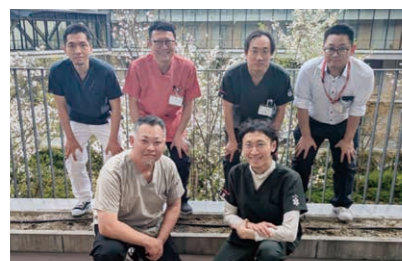
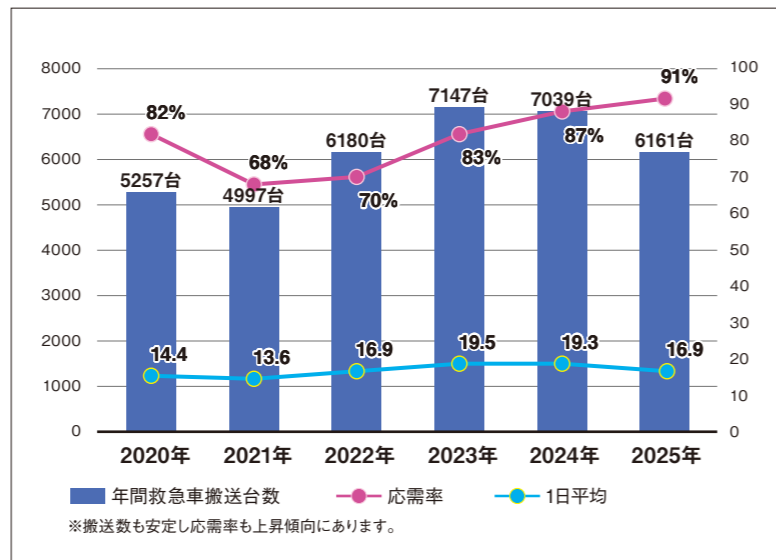
■24時間365日 「助けを求める患者さん」を積極的に受け入れる救急

神戸市東灘区の高度急性期中核病院として「心技一体で質の高い不断の救急」を理念としています。

神戸市東エリアからの搬送を中心に神戸市1,2の搬送数となっており、たくさんの症例を経験しながら臨床力を身に付けることができます。

内科、外科、整形外科、脳神経外科、小児科など幅広く、軽症～重症までVarietyに富んでいます。たくさん実戦を積むことがLevel upの最も近道です！

救急・集中治療科だけでなく、各Specialistのサポートの元、安心してActiveなERで研修してください。



■臨床講義・救急レクチャー

研修医の教育を充実させるため研修医の意見を取り入れ、臨床講義、救急レクチャーを積極的に行っています。

臨床講義では、各診療科の専門医師より日常臨床に関することを学びます。皆さんが「何を学びたいか」に合わせて、研修医のニーズをくみ取った講義を行っています。

また、金曜日開催のKER-FES(Konan ER-Friday Evening Seminar)では救急科医師より、「甲南ERで研修して救急が楽しくなった!」と思ってもらえるようにハンズオン中心のレクチャーを開催しています。本年度も新メンバーが加わり更にパワーアップの予定です!研修医の皆さんの意見を取り入れつつ素敵な研修を目指しています。

ぜひ一緒に甲南ER&ICUでCritical careのGeneral mindを修得しましょう!!



■臨床講義テーマ (※変更の可能性あり)

1 救急科	当直時の対応について
2 消化器内科	腹痛診療について
3 耳鼻咽喉科	救急における咽喉頭感染治療の落とし穴
4 糖尿病・内分泌・総合内科	感染症の基礎知識
5 呼吸器外科	救急診療における呼吸器・胸部外科疾患
6 眼科	眼科救急疾患
7 整形外科	救急外来での腰部痛の鑑別診断
8 栄養管理部	栄養管理について
9 精神科	せん妄
10 病理診断科	病理診断(生検、手術、解剖)に関して
11 腎臓内科	急性腎不全の治療と診断
12 産婦人科	救急搬送された産婦人科疾患の対応
13 医療安全	医師のインシデント報告について
14 脳神経内科	脳卒中対応 ~ これのポイント ~
15 リハビリテーション部	嚥下について
16 循環器内科	心エコー図検査の概要
17 中央放射線部	放射線部で行う各種検査の進め方
18 乳腺外科	乳部の治療
19 感染防止対策室	病院での感染対策
20 歯科口腔外科	周術期口腔機能管理について
21 消化器内科	消化管出血と内視鏡診療における抗血栓薬の注意点
22 薬剤部	薬物相互作用
23 腫瘍・血液内科	輸血療法について
24 消化器外科	急性腹症~外科医の視点から考える手術適応とその実際~
25 中央検査部	検体検査の注意点
26 糖尿病・内分泌・総合内科	糖尿病管理について
27 認知症疾患医療センター	日常診療で出会う患者のこころのサポート
28 腫瘍・血液内科	Oncologic emergency
29 呼吸器内科	慢性咳嗽の診療について
30 循環器内科	虚性心疾患
31 脳神経内科	てんかんについて
32 小児科	小児の救急

■救急レクチャー (KER-FES) 一覧

1話	初期対応 for内因性 (ERで困らないために!)
2話	初期対応 for 外傷 (ERで動けるようになる!)
3話	とりあえず!FASTで
4話	ER顕微鏡設置記念! 感染症の原則&Gram染色
5話	バイタル診断!やバイタル①
6話	バイタル診断!やバイタル②
7話	Level up! 腹部診察
8話	Expertに学ぶ 腹部エコー by救急部長
9話	呼吸の見方 ~respiratory tasting~
10話	すぐ身につく!すぐ役立つ! 肺エコー
11~13話	Expertに学ぶ 特別編 熱血! 心電図読 beyond ER

他 ●症候別の診察&動き方@ER
●感染症@ER各論
●縫合処置、Airway確保など手技関連
●エコー達@ER ●小児救急 等々

今年も年間を通して感染症診療を専門医より講義予定です!

ラーニングピラミッド(アメリカ国立訓練研究所)はご存じでしょうか?学習定着率は講義形式では5%しか残らず、実演説明で30%、練習75%、他者に教える90%と増えていきます。KER-FESではハンズオン・シミュレーションを中心にER診療に役立つ内容をお届けします!



救急レクチャーの様子

研修医が安心して学び、成長できるよう、さまざまな教育・サポート体制を整えています。



オリエンテーション



4月のオリエンテーションでは、臨床の現場に役立つ専門的なレクチャーを、講義形式と実践形式の両方で受けます。これから始まる研修への第一歩を安心して踏み出せるとともに、多職種連携の大切さを早い段階から体感できるようになっています。

臨床講義



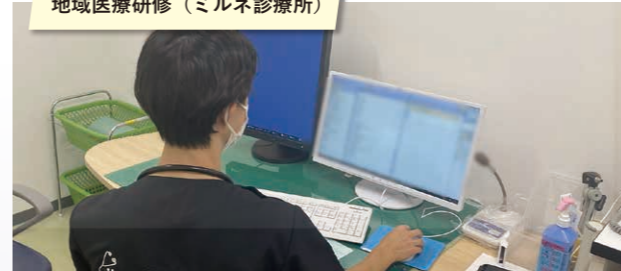
ハンズオンセミナー



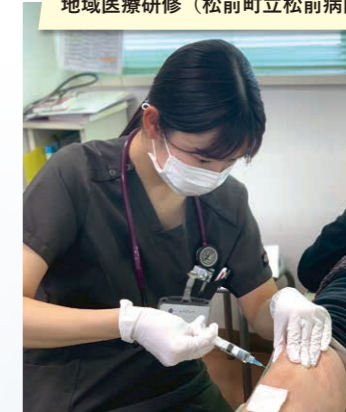
4月から6月にかけて毎朝、臨床講義を実施しています。医師やコメディカルスタッフがそれぞれの専門分野についてわかりやすく解説し、日々の診療にすぐ活かせる知識を学ぶことができます。

放射線科医師によるハンズオンセミナーでは、実際に医療機器を操作しながら、実践的な画像診断力を身につけます。

地域医療研修 (ミルネ診療所)



地域医療研修 (松前町立松前病院)



2年次の地域医療研修では、地域に寄り添い、暮らしを支える医療を学びます。研修と日常にメリハリをつけながら、地域ならではの医療への理解を深めます。※その他、芦屋甲南クリニック(兵庫県神戸市)、そらクリニック(兵庫県尼崎市)でも研修可能です。

救急自動車同乗実習



毎年、消防署のご協力のもと救急自動車同乗実習を実施しています。救急現場に同行し、搬送の流れや初期対応を見学しながら学びます。

職員ワクチン接種



病院職員を対象としたB型肝炎ワクチンやインフルエンザワクチンなどの問診・接種を担当し、予防医療に携わることができます。

最新の医療機器



豊富な医療機器やシミュレーターが整備されており、充実した環境のもとで研修に取り組みます。

甲南医療センターで研修してみませんか？

初期研修医 1年目



2026年度は15名(甲南プログラム9名、神戸大学たすきがけプログラム6名)の研修医が採用になりました。

研修医室



充実した研修生活の中で、仲間と一緒に学び合いながら着実にスキルアップできる環境が整っています。

学会発表

受賞
おめでとうございます！



学会発表で研修医が表彰されました。院内での症例発表や院外学会への参加など、本人の希望に応じてチャレンジすることができ、指導医のサポートを受けながら活躍の場を広げることができます。

修了証授与式



毎年3月にある臨床研修修了証授与式では、院長より一人ひとりに修了証が授与されます。



人の手で接する心技一体の医療を追求し 総合力のある医療人を育てる

院長 具 英成



当院はおよそ100年前の創立時から、営利本位に陥らず全ての患者が名医の治療や手術が受けられる患者本位の医療を追求するという当時としては先駆的な理念を掲げ、全職員で歴史を紡いできました。2022年の新病院誕生の節目には神戸大学との連携をさらに強化し「人の手で接する最善の医療を追求する」という新しい理念を掲げ、公益財団法人甲南会 甲南医療センターとして再スタートしました。

その後、新型コロナウイルスによる予期せぬ新興感染症が蔓延し、感染症や災害に対する備えが改めて問われる時代になりました。急速な変化の中でこれからも最善の医療を実現するには建物や医療機器だけでなく、社会や経済の荒波を乗り越えながら、医療者の初心を忘れず「心技一体で心の深くに届く高質の医療を実践できる総合力のある医療人の育成」が重要になると考えています。幸い当院は東灘区にある甲南大学、甲南女子大学など近隣の大学、東灘区の医師会、歯科医師会や区役所など行政とも協働し、東灘次世代医療コンソーシアムを構築し参加しています。これは地域が誇る医療人材育成を目指すプラットフォームで地域住民への健康情報、疾病予防に取り組むことを目的としています。このような地域の文化を活かし、当院が地域の医療をさらに先導したいと念願しています。大志を抱く研修医の皆さん、心身たくましく当院で飛躍の一步を踏み出してください。

医療の最前線で実践を重ね実力を養う

教育研修センター センター長(研修管理委員長) 下山 学

当院は神戸市東部地域の医療を担う急性期総合病院です。総合病院の強みを生かし、多領域にまたがる、複数の疾患を併発している、多数の基礎疾患を有するなどの症例を受け入れることができます。そのため毎日多くの患者さんが受診しています。救急では救急専門医が各専門領域の医師と連携を取りながら高い応需率で多数の救急搬送症例に対応しています。このような医療現場で教育熱心な上級医と医療を実践する初期研修の2年間は皆さんにとってかけがえのない時間となります。これからの長い医師人生を共に歩む大切な同期を得る機会でもあります。毎年、様々な大学出身の研修医が入職しています。お互いに刺激を受けながら成長していくことができます。

教育研修センターは皆さんが安心して研修医生活を過ごすことができるように臨床研修以外の事務的な面も含めてサポートしていきます。当院は働き方改革を積極的に行っておりメリハリのある研修ができるように研修先各科と連携して勤怠管理を行っています。初期研修医が順調に力をつけていくことは病院の成長でもあり、地域の方々への医療貢献にも繋がると考えています。我々のチームの一員となって一緒に成長していきましょう。



適度な緊張と安寧を兼ね備えた研修体制で 医師としての実践力を学ぶ

初期研修プログラム責任者 矢野 嘉彦

当院は、神戸市東部の救急医療の中核を担う総合病院として、地域の多様なニーズに応えながら幅広い症例に対応しています。救急科では、ER型の救急システムを導入し、上級医のサポートのもと、救急現場で多くの経験を積むことができます。また多数の専門診療科を有しており、各領域の専門医のもと、さまざまな専門領域の疾患にも触れることが可能です。教育熱心で個性豊かな指導医たちのもと、総合病院としては診療科の垣根が低く、日常的に専門医と相談しやすい風通しの良い雰囲気があります。また、当院初期研修プログラムを修了した専攻医も多数在籍してキャリアアップに励んでおり、自身の将来像を想像しやすい環境です。

個々の興味や将来のビジョンに合わせて選べる自由度の高い研修プログラムも魅力のひとつです。16か月の必修研修で総合力・実践力を身につけ、8か月の選択研修期間で将来に生かせる診療科を選択することができます。

2026年度は、初期研修医24名(1年次15名<神戸大学たすきがけコース6名を含む>、2年次9名)が在籍し、助け合いながら研鑽を積んでいます。多くの仲間とともに、将来の医療を支える実践力を養ってください。

充実した研修環境で将来につながる 大切な2年間を過ごしませんか

教育研修センター 副センター長 後藤 直大



甲南医療センターは、神戸市東部における地域医療の要として、位置づけられています。当院の研修の柱は、充実した救急医療体制と、教育への熱意にあふれる指導医陣です。救急初期対応を含むプライマリ・ケアの習得はもちろん、チーム医療の重要性を理解し、患者さんから学ぶ謙虚さと医師としての責任感を備えた若手医師の育成を目標としています。また、常に「質の高い、安全な医療」を提供するため、最新のエビデンスに基づいた学習機会を計画的に提供し、スキルアップを支援しています。

市中病院である当院には、全国から多様なバックグラウンドを持つ研修医が集まります。切磋琢磨し、時には支え合う仲間は、一生の財産となるはず。数多くの症例を経験しながら、医師としての確かな土台を築ける環境がここにはあります。

時代の変化に合わせて、多様な価値観を尊重し、研修プログラムも日々進化を遂げています。高い志を持つ皆さんとともに成長し、次代の医療を支える仲間としてお迎えできる日を、心より楽しみにしています。